

科目ナンバー	ART-1-003-j			科目名	造形		
教員名	本多 正直			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	この授業は、個々の「造形原理」を把握した上で様々な造形の分野における表現についての知識と技術を身につけることを目的とする。それぞれの素材を生かして1人1人が独自の表現に結び付けていくことができるように基礎的な要素を演習によって学ぶ。講義後に行う演習は、それぞれのスケッチブックに自らの造形原理を考えながら進める。						
到達目標	自分の造形原理について学び発見することにより、自信を持って『かたちや色彩』の構成やコーディネート等をおこなえる感性を身につける。また実際に小学校の教壇にたった際に、児童が疑問に思うことに対し教師が造形的な知識をもとに適切な指導ができる力を身につけることを目標とする。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	講義とその内容に沿った演習により進めていく。特に講義に対する理解度が演習に反映されるため、机間指導によって学生個々の制作内容と進捗に対応していく。講義後に行う演習では、それぞれの造形原理を意識しながら、課題制作を進めていく。(課題解決型学習) 毎回授業の初めに振り返りを行い、自分の造形原理を活かせる制作ができるよう心掛ける。						
アクティブラーニング		○	サービスラーニング			課題解決型学修	○
受講条件 前提科目	図画工作の指導に必要な、造形原理を学びたい人、美に対して興味のある学生。履修希望者が、50名を過ぎた場合は、児童教育コースの学生と上級生を優先し、抽選により履修者決める。						
アセスメントポリシー及び評価方法	課題ごとに作品を提出してもらい、制作姿勢とあわせ総合的に評価する。取り組み姿勢50%、課題作品内容、スケッチブック50%「共愛12の力」の分析し思考する力、構想し実行する力、自己を理解する力特に評価の対象とする。						
教材	受講者は、各自F4スケッチブック、色紙、糊、ハサミ、を必ず用意すること。陶芸材料等の専門性の高い教材もあるので、学生に用意してもらうものはその都度説明する。						
参考図書	各々のテーマに沿って必要に応じて提示する。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	オリエンテーション造形原理についての解説						
授業外学修内容	スケッチブック等の準備と造形原理について考える時間を持つ。誰もが自分の造形原理を持っていて、自分でそれを再発見する授業であることを理解する。					時間数	1
2週目							
授業学修内容	造形原理について 変化と統一 線対称形作品の制作 スケッチブックにそれぞれの項目をまとめ色紙を使って作品の制作をする。						
授業外学修内容	変化と統一 線対称形の内容を完成させる。					時間数	1
3週目							
授業学修内容	変化と統一 点対称形 放射状の対称形 作品の制作 スケッチブックにそれぞれの項目をまとめ色紙を使って作品の制作をする。						
授業外学修内容	変化と統一 点対称形 放射状の対称形の内容を完成させる。					時間数	1
4週目							
授業学修内容	変化と統一 総合の形 作品の制作作品の制作 スケッチブックにそれぞれの項目をまとめ色紙を使って作品の制作をする。						
授業外学修内容	変化と統一 総合の形 作品の制作の内容を完成させる。					時間数	1
5週目							
授業学修内容	総合のかたち 作品の制作 スケッチブックにそれぞれの項目をまとめ色紙を使って作品の制作をする。						

授業外学修内容	総合のかたち の内容を完成させる。	時間数	1
6週目			
授業学修内容	総合のかたち 作品の制作 スケッチブックにそれぞれの項目をまとめ色紙を使って作品の制作をする。作品コンテスト		
授業外学修内容	総合のかたち の内容までをまとめる。	時間数	1
7週目			
授業学修内容	陶芸 手びねり 成形形についての講義を行った後に、陶芸用粘土により作品制作を行う。		
授業外学修内容	陶芸についての内容をまとめる。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	変化のかたち作品の制作 スケッチブックにそれぞれの項目をまとめ色紙を使って作品の制作をする。		
授業外学修内容	変化のかたちの内容を完成させる。	時間数	1
9週目			
授業学修内容	陶芸 手びねり素焼き作品への 施釉		
授業外学修内容	釉薬がけについて理解できるようにまとめる。	時間数	1
10週目			
授業学修内容	リズム 繰り返しのリズム 漸増のリズム作品の制作 スケッチブックにそれぞれの項目をまとめ色紙を使って作品の制作をする。		
授業外学修内容	リズム 繰り返しのリズム 漸増のリズムの内容を完成させる。	時間数	
11週目			
授業学修内容	比率とコントラスト 色彩について 色の対比作品の制作 スケッチブックにそれぞれの項目をまとめ色紙を使って作品の制作をする。		
授業外学修内容	比率とコントラスト 色彩についての内容を完成させる。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	色と構成のイメージ 作品制作(色面構成) 灯籠(和紙によるインテリア)制作作品の制作 スケッチブックにそれぞれの項目をまとめ色紙を使って作品の制作をする。		
授業外学修内容	色彩についての内容を完成させる。次回までに灯籠の形のアイデアスケッチを考えてくる。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	灯籠(和紙によるランプシェード)制作次回までに灯籠のデザインを下絵に転写する。		
授業外学修内容	灯籠(和紙によるランプシェード)の切り絵の制作を進める。	時間数	1
14週目			
授業学修内容	灯籠(和紙によるランプシェード)制作		
授業外学修内容	灯籠(和紙によるランプシェード)の切り絵の制作を仕上げる。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	灯籠(和紙によるランプシェード)制作 まとめ 講評会		
授業外学修内容	授業のまとめをする。	時間数	1
上記の授業外学修時間の合計		16	
その他に必要な自習時間		74	

Number	ART-1-003-j	Subject	Molding
		Year and S	Second semester

Name	本多 正直(Honda Masanao)	semester	for 2020	Credits	2
Course outline	0	The purpose of this lesson is to acquire knowledge and skills on expressions in various shaping fields after grasping the individual "modeling principle". Learn the fundamental elements by exercises so that each person can make use of each material and ties each person to their own expression. The exercises to be held after lecture are advanced in each sketchbook considering their modeling principle.			